

秋田県が新システム

クマ出没、地図で確認「」開始

クマによる被害が多発する秋田県は1日、県内の出没情報をスマートフォン、パソコン上の地図に表示する新システム「クマダス」の運用を開始した。指定したエリアでの出没情報を、速報メールで受け取ることもできる。イノシシやシカにも対応しており、動物による人身被害の防止につなげたい考えだ。

地図で出没地点を選択すると、日時や目撃時の状況が表示される。これまでも似たシステムはあったが、県が市町村の情報を集約していたため反映に時間がかかっていた。クマダスは各自治体が直接入力する仕様になって



秋田県内のクマ出没情報を地図に表示する新システム「クマダス」のトップページ

おり、速報性が向上する。

今後は観光地などにクマダスのQRコードが載ったチラシを配布し、注意喚起する。

記事を読んで、問いに答えましょう。

- ①見出しの にあてはまる、記事の新システムの名称をカタカナで書きましょう。 (**クマダス**)
- ②この新システムによって、出没情報を表示できる動物をすべて書きましょう。 (**クマ、イノシシ、シカ**)
- ③この新システムは今までのシステムと比べて、どんな点が改良されていますか。

(例) 各自治体が直接入力する仕様のため、速報性が向上した。

- ④野生動物による人や作物の被害が増えている理由について、あなたの考えを60字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例)

- ・異常気象や環境破壊などにより、野生動物が住む場所の食料が減り、人家の近くまで降りてきていることが問題ではないか。(56字)
- ・過疎化が進み、耕作放棄地が増加して人と野生動物の住む境界が不明確になってきたことが原因の一つだと考える。(52字)

など